

ぶちらいふ

らいふ通信



らいふ萩園
らいふ松林
らいふ神明

2009.春
Vol.15

らいふホームページ <http://life.daikatsu-k.co.jp/>
らいふ通信 <http://green.ap.teacup.com/lifekaigo/>

今年のみんないな花を咲かせてくれよ。しっかり命をはぐくんでおくれ。
小林 正



小林さんと植えた紫の藤(しま藤と命名されました)



ジャガイモを収穫中です



大きな葉をつけたキャベツ

命名させて
いただきま
す。しま藤、
正藤ともに大
きくなって百
年らいふと歩
んでおくれ。
(編)三島

私が患っている間接リウマチは原因不明の免疫異常による全身性炎症性疾患です。日によって痛みが強いので日常生活に支障が出ます。私の母もリウマチだったので自分の残りの人生を考えると、野菜や草花など物言わぬ命が大変いとおしく感じられます。ここには百年生きられるという庭木が3種類あります。木犀、オリーブ、藤。木犀は金と銀があり秋になったらいい香りがします。オリーブは緑色の実をつける私たちに身近な食材です。藤は、昨年わたしの思いつきで始めた植樹募金で白と紫を買いました。万葉集にも出てくる日本ではお馴染みの5月頃花をつける木です。みなさんから寄付をいただいた心意を代表して、小嶋部長と三島所長の1字を借りて『しま藤』と名づけました。



調子がよければ庭に出るのが楽しみな小林さん



光

らいふ家族
小林正さん



らいふ萩園の庭を自分の子供のようにならして大事にしている方がいます。これまで小林さんの手で大根、インゲン、トマト、小松菜など数多くの野菜を収穫してきています。そんな小林さんが投稿してくださりましたのでご紹介いたします。

小林さん、投稿ありがとうございます。私も好きなのがたくさんいます。いろいろやり、皆さんご自分のできる方法で手入れをして下さい。その中で最も情熱を注いでくださるのが小林さんです。百年生きるという3種類の木は、最初に植えられたオリーブ以外小林さんのお力で庭に植えられました。私たち小林さんに敬意を表して、白い藤は『正藤(しょうとう)』と命名させて

第2回 らいふ介護セミナー 3月28日

安全な介護とは？ 事故防止セミナー開催



講師：山田滋氏

(株)あいおいコンサルティング主任コンサルタント。リスクマネージメントについての著書多数。



誤薬を防ぐために考案された100円均一の袋。お薬の説明書と変更内容が一目で確認できる。

と事故防止マニュアルの作成、事故を予測する個別援助の力を付けることが私たちに求められている事、家族、主治医、ケアマネ、各サービスが連携して利用されるご本人のリスクを共有することが課題だと気づかされる研修会でした。

今回は、全国の施設の情報も豊富にあり、現場ですぐ使えるリスクマネージメントを企画されていると定評のある山田滋さんが講師ということで、茅ヶ崎市内のデイサービスや横浜市、藤沢市からも参加があり45名が集まりました。やるべきことをやっていけば防げる賠償責任が発生する事故と防ぐことが困難な事故について説明され、家族へのリスク共有の働きかけが大切であることがわかりました。特に認知症の方の行方不明事故の報告は大変参考になりました。事故を起こした本人を攻めるよりも、施設のハード面からの視点

誤薬、誤嚥、入浴、レクリエーション中、リハビリ中、送迎時などの事故事例が書かれている資料を熱心に見る参加者。



2時間のセミナーはあっという間に終わりました。



「勉強になりました。現場に持ち帰ります。」と話す茅ヶ崎市内のデイサービススタッフのお二人。



らいふ萩園
デイサービス
居宅介護支援センター
〒253-0071 茅ヶ崎市萩園2822-1
TEL0467-89-5277

らいふ松林
小規模多機能型居宅介護
〒253-0017 茅ヶ崎市松林2-6-34
TEL0467-54-8591

らいふ神明
小規模多機能型居宅介護
グループホーム
〒251-0021 藤沢市鶴沼神明2-12-17
TEL0466-21-7893

らいふ通信「ぶちらいふ」春号Vol.15
2009年4月15日(季刊発行)
編集/ぶちらいふ編集部
神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
〒253-0071 TEL0467-55-5102
発行/大勝建設株式会社介護事業本部

編集後記

4月1日介護保険法改正にもとづき報酬改定がありました。あんなに3%アップと騒がれたのに、現実的にはそれほど上がらず、介護保険料の引き上げを行う保険者も出てきました。年金だって当てにならないし、安心して歳を取れる世の中は本当に来るのでしょうか。前号を読んだ方からぶちらいふ編集部にお便りがとどきました。紹介します。

毎日皆様の心からの介護大変ですね。ぶちらいふを読んで皆様のお仕事ぶり、行くたびに苦勞がよくわかります。皆やさし

い人で行くのが楽しみです。皆さん精一杯お世話してくださりありがとうございます。

杉山喜美子

お便りありがとうございました。これからも編集部へのお便り、投稿お待ちしております。(み)



編集部にかわいいボランティアさんが顔を出してくれました。古澤松依ちゃん1歳。またきてね～

【特集記事】らいふのお庭から

ボランティアの皆さんに支えられての庭作り。



らいふには様々なボランティアさん達が訪れます。中でもイーハトーブ湘南の皆さんはらいふにとってかけがえのない存在です。今回は、イーハトーブ湘南の活動を通してその「らいふ」のお庭を紹介します。

まだ小さい樹が多い庭ですが、新規オープンから1年を経て、次々と芽が出て、花が咲き、2回目の春を迎えています。手入れで伺うときは、必ず誰かがねぎらいの声をかけてくださったり、花談義になったりして、楽しい時を過ごさせていただけます。



光



三島所長から庭作りを託されたイーハトーブ湘南です。茅ヶ崎市内で園芸ボランティアとして、らいふ萩園、松林、神明の3事業所を初めとして、高齢者施設の庭造りや園芸レクリエーション、「湘南ゆめわくわく公園」の花壇の植栽などの活動をしています。

折々、自然に近い景観を目指し、庭を見ながら、癒される庭を心がけて作っています。予算の関係で、まだ

イーハトーブ湘南代表 塩崎 裕子



新規オープンに向け、活動するイーハトーブ湘南の皆さんと代表の塩崎裕子さん(右)。塩崎さんは、水遣りにもよく来てくださいます。



らいふ松林の植栽たち



寄せ植えも皆さんの楽しみのひとつ。



年を通して色とりどりの草花が咲くお庭。

昨年3月29日にオープンした「湘南夢わくわく公園」は小出川の再開発のため、公設ドッグランや軽スポーツエリアを設置した湘南初のマルチパーク。この公園の花壇もイーハトーブのボランティアによるもので、写真は開墾しているところ。



らいふ神明の玄関前も緑に彩られました

松林



浄見寺へお花見に行ってきました。古民家にはお雛様が飾られていてとても素敵でした。

らいふ歳時記 event

ネイルアートをしてもらい、皆さん笑顔で楽しいひと時を過ごしました。



鷗沼小学校の生徒さんたちが花笠踊りを披露してくれました。

神明



桜の花の形の焼売



寒川の倉見でお花見をしました。厨房さんも頑張ってお花見ご膳を作ってくれました。

萩園



マンション建築を回避して景観を守った茅ヶ崎フィッシングセンター跡。現在は3階建ての結婚式場が建つ(写真右上)

岸線に付随する様々な難問が今も山積みしています。行政に働きかける市民の力が大切だとつくづく思うのでした。昨年公開された映画『続・三丁目の夕日』では、東京の日本橋の上に高速道路を通して、あのお江戸日本橋の姿が消える前の風景が映し出されています。一度失われた景観を取り戻すは不可能に近いということが良くわかります。素晴らしい茅ヶ崎の海を未来へ繋げていくことは、我々の責任でもあるのですから。(井)



湘南の海とエポシ岩と富士山は一体になって、正に茅ヶ崎の宝なのです。それが巨大なマンションで失われてしまふなんて信じられない話ですが、危機一髪のところまで回避できたのは市民としても嬉しいことでした。しかし、景観保護だけでなく、海岸の浸食の問題、海洋植物の保護育成、駐車場問題など、全長6キロの海



「茅ヶ崎の海が大好き」

▽はじめに 明治時代に徳富蘆花が逗子に居を構え、「不如帰」(ほととぎす)という小説を書いてベストセラー作家になりました。その彼が「自然と人生」という本を出し、その中で「湘南雑記」というエッセイを書き、「湘南」という地名を全国的に有名にしました。これらから、湘南の地名は逗子、葉山辺りから始まり、その後、西の大磯辺りまで広がったようです。 また、鎌倉時代に吉田兼好が書いた「徒然草」(つれづれくさ)という有名な随筆がありました。この二つの書から「湘南つれづれ」という題にして、湘南に住んで、身辺に起こるさまざまなことや人物について書き綴ってみたいと思っています。

湘南つれづれ①

昨年暮れに『エリー』茅ヶ崎の海が大好き」という本が出版されました。本屋の当地ゆかりの著書のコーナーでは、城山三郎や開高健の本とともに平積みされています。 この本は今年から音楽活動を中止した、サザンの桑田佳祐氏の実姉が死の直前に書いたもので、主題は海岸に14階建てのマンションが建つのを阻止し、景観を守ったという実話を書いたものです。